

働き方の変化 商機

3年連続増収企業の増収率ランキング

順位	社名	業容	3年前と比べた増収率	直近期の売上高
1	クラウドワークス	クラウドソーシング	718%	66億円
2	フォーサイド	ゲーム用景品や不動産	419	39
3	クリアホールディングス	住宅事業やコスメ	399	22
4	ジーエヌアイグループ	医薬品開発	394	50
5	ユーザベース	情報サービス	388	93
6	デ・ウエスタン・セラピテクス研究所	医薬品開発	379	2
7	バリューゴルフ	ゴルフ場予約サイト	360	45
8	オークファン	価格比較サイト	305	58
9	トランスジェニック	創薬支援	279	86
10	北の達人コーポレーション	健康食品・化粧品販売	274	83
11	パルマ	レンタル収納スペース	269	26
12	ファーマフーズ	機能性食品の素材	267	79
13	フィル・カンパニー	駐車場の上部空間開発	217	47
14	GameWith	ゲーム攻略情報サイト	217	31
15	エンパイオ・ホールディングス	土壌汚染対策工事	213	85
16	串カツ田中ホールディングス	串カツ店	205	76
17	ロコンド	靴通販サイト	201	67
18	ダブルスタンダード	ビッグデータ解析	197	28
19	新都ホールディングス	カジュアル衣料卸	195	15
20	弁護士ドットコム	法律相談サイト	181	31
21	アトラエ	求人サイト	176	23
22	デザインワン・ジャパン	店舗情報サイト	166	24
23	テラスカイ	クラウド導入支援	165	65
24	ASIAN STAR	不動産賃貸・売買	163	31
25	ストライク	M&A仲介	163	37

日本経済新聞社が売上高100億円以下の上場企業「NEXT1000」で過去3年間の増収率を調べたところ、上位25社の中にはインターネットや医療のほかに飲食、ゲームといった幅広い分野の企業が名を連ねた。時代の変化をとらえ、M&A（合併・買収）を含めて対応を急いだことが奏功した例も目立つ。首位は個人で働く人と企業をつなぐクラウドワークスだ。



2019年
9月3日

火曜日

《2、11面》

調査の概要 直近決算期の売上高が100億円以下の上場企業78社を対象（TOKYO PRO Market 上場企業、最終赤字の企業除く）。決算短信で3年間続けて売上高を伸ばした企業（金融、決算期変更など除く）のうち、3年前と比べた増収率の高い順にランキングした。原則として連結決算。8月10日時点。

中堅企業の3割 3年で30%増収

日本経済新聞社が売上高100億円以下の上場企業「NEXT1000」を対象に、2018年度まで3年間の売上高伸び率を調べたところ、3割の企業が30%以上伸びた。上位には企業「NEXT1000」を対象に、動き方や消費の変化をこらえたインターネット関連企業が目立っている。2018年度まで3年間の売上高伸び率を調べたところ、3割の企業が30%以上伸びた。上位には企業「NEXT1000」を対象に、動き方や消費の変化をこらえたインターネット関連企業が目立っている。2018年度まで3年間の売上高伸び率を調べたところ、3割の企業が30%以上伸びた。上位には企業「NEXT1000」を対象に、動き方や消費の変化をこらえたインターネット関連企業が目立っている。

「NEXT1000」の企業全体の売上高伸び率は13・2%で、東証1部の上場企業全体を1・6割上回った。首位のクラウドワークスは、仕事の受発注サイトを運営して個人と企業をつなぐ。兼業や副業で働きたい人のニーズが高まっており、現在の登録者数は294万人にのぼる。8位のオークファンはネット上で売買されている商品の価格比較サイトを運営している。個人も所有品を売り出すようになり、価格を巡る情報への需要は大きい。蓄積した膨大な売買データの分析でサービスの価値を高めている。

許諾番号 30071515 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

©日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。
日本経済新聞社は、記事内容により、特定の企業・団体や商品・サービスの購入・投資等を推奨するものではありません。